

現在、午前9時45分。寒気の影響が大きく、風雨が強い状況です。

でも、明日から始まる期末考査に向けて、子どもたちは落ち着いて授業に取り組んでいます。

さて、先日お伝えした、私が拝読している著「新しい哲学を語る」より、心に残った個所を紹介します。

「伝記などを通じて、世の偉人たちがどのようにして素晴らしい人間性をつくり上げてきたのかということを見ると、そのほとんどが、努力を惜しまず、辛苦を重ねながら、仕事を通じて素晴らしい人間性を身に付けたということに行き当たるはず。その最も典型的な例が二宮尊徳だと私は思います。」 (p 85)

稲盛氏は、この個所を第3章「働く意義と『利他』の精神」で語っておられます。働く目的は、心を磨き人間性を高めることであると。